

2026 CPTPPを題材とした 学生調査・研究プロジェクト

—変動する国際環境と、日本のこれから—



■ 概要

不確実性が高まる国際経済環境の中、日本が推進しているCPTPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）を題材に、学生主導による調査・研究プロジェクトを実施します。

学生（グループ）は、CPTPPの意義や経済発展との関係について理解を深め、調査・研究内容の発表に取り組むとともに、政府職員との交流を図ります。

■ 参加対象

国際経済・通商政策に関心のある学生グループ※を対象とします

※専攻・学年は不問（ただしグループごとに指導者（教員等）を登録する）

※1グループ5名程度とし、同一大学／ゼミ等から複数チームの参加も可能

■ 調査・研究テーマ

参加するグループが各々の関心等を踏まえて設定することができます

- (例) ○ 具体的な国際貿易や海外投資上の課題への対応
○ CPTPPがもたらす経済活性化の事例
○ 特定の産業や企業活動に着目したCPTPPとの関係 など

■ スケジュール（想定）

4-5月 | 参加グループの決定

6月 | テーマの決定、調査・研究開始

春～夏 | TPP本部職員による基調講義

9-10月 | 中間報告会（グループごとにオンラインで実施）

時期未定 | 成果発表会（全チーム一堂に会して実施）

TPP本部では、充実した調査研究となるよう、基調講義に加え、必要に応じて資料提供や関係機関との面会等をサポートします。

併せて関係団体への訪問や政府職員との交流についても検討します。

■ お問い合わせ先

内閣官房 TPP等・米国関税措置総合対策本部事務局（対外情報発信担当）

TEL : 03-3581-0323